

平成27年度 学校自己評価システムシート (県立八潮南高等学校)

目指す学校像	校訓「勉学 誠実 実行」の実践を通して、確かな学力と専門性を身に付け、地域・社会に貢献できる人材を育成する学校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 心の通う毅然とした生徒指導により、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図り、地域から信頼される生徒を育成する。 生徒の主体的な学びを促進し、基礎学力及び資格取得による専門性の向上を図り、進路希望の実現につなげる。 部活動と学校行事のさらなる活性化を図り、生徒の自主的な実践力を高め、社会の中で力強く生きていくことができる力を育成する。 保護者・地域との連携強化、情報発信の拡大、生徒募集活動の活性化を通して、地域に根ざした学校づくりを実現する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価(平成28年1月14日現在)		平成28年1月21日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	問題行動が微増の状態である。引き続き生徒理解を根拠とした毅然とした生徒指導を継続し、問題行動の減少と落ち着いた学校環境の維持を目指す。その実現のため、組織的に指導を行う一層の体制の整備を行うことが課題である。	心の通う毅然とした生徒指導の取組	<ol style="list-style-type: none"> SNSを発端とする問題行動の減少に向けた取組の実施 一層の生徒理解に向けた組織的な教育相談の実施 学年間の連携を密にし、生徒指導部を中心に、より組織的、体系的な指導ができる取組の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 具体的な取組を実施できたか 学年と教育相談委員会が組織的に連携できたか 具体的な取組の実施と体制作りができたか 	<ol style="list-style-type: none"> グリー株式会社より講師をお招きし、情報モラル講演会を実施した。(4月15日) 事案ごとに学年と教育相談委員会の担当者がチームを組んで複数回の会議を行い、専門機関との連携も含め、迅速に対応することができた。また特別支援教育の巡回支援を行い、学校生活に不安を抱える生徒の指導について、専門家の助言に基づいて効果的な指導を行った。 教育相談委員会で定期的に学年の情報を基に対応を検討した。その結果を企画委員会に報告し、情報を共有した。 	A	引き続き生徒理解を根拠とした毅然とした生徒指導を継続するとともに、学校生活に不安を抱える生徒の相談体制の確立と巡回支援等の外部との連携を密にする。また学年、生徒指導部、教育相談委員会企画委員会が、さらに組織的・体系的な指導ができる体制作りと取組の実施を目指す。	校内がきれいで清掃が行き届いているところからも学校が落ち着いている様子がとてもよく分かる。今後も期待している。交通ルールの遵守については、指導を継続するとともに各自の自覚も高めてほしい。
2	高度な資格取得を実現する生徒、学ぶ意欲の高い生徒も増えている。基礎学力、資格取得による専門性の向上と生徒の主体的な学びを実現するために、考查前学習時間の確保と授業改善に向けた取組を行うことが課題である。	基礎学力の向上と資格取得による進路希望の実現	<ol style="list-style-type: none"> 考查前学習を促す生徒アンケートの実施 実力テストの実施と生徒・教員へのフィードバックの実施 基礎学力、資格取得による専門性の向上を目指し、授業改善に向けた研究授業の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒アンケートを実施できたか フィードバックの実施ができたか 授業改善に向けた研究授業を実施できたか 	<ol style="list-style-type: none"> 全校生徒と保護者を対象に、学校生活に関するアンケートを実施した。(12月11日～18日) 実力テストを実施し、その結果についてフィードバックを行った。(生徒対象：7月8日、教員対象：11月19日) 年次研修、未来を拓く「学び」プロジェクトで授業改善に向けた研究授業を行った。資格取得については1、2級について合格率が増加した。就職内定率は100%を達成した。 	A	基礎学力、資格取得による専門性の向上と生徒の主体的な学びを実現するために、継続して考查前学習時間の確保と授業改善に向けた取組を行うことが課題である。高度な資格取得を実現する生徒、学ぶ意欲の高い生徒をさらに伸ばし、全員の進路希望を実現する。	市民授業公開に参加した。生徒が集中して授業に取り組む、活気のある授業が印象的だった。今後は読書を推進する取組も期待したい。卒業生懇話会等の進路指導の取組の継続により、就職内定率100%を達成したことは素晴らしい実績だ。
3	部活動加入率が増加している。これまで以上に部活動と学校行事の活性化を図る。その実現に向け、部活動の加入率増加のための取組、学校行事の内容改善に向けた取組を行うことが課題である。	部活動と学校行事の活性化	<ol style="list-style-type: none"> 部活動の加入率増加のための取組の実施 学校行事の内容の改善に向けた取組の実施 部活動と学校行事への積極的な参加を促す生徒アンケートの実施 	<ol style="list-style-type: none"> 部活動の増加のための取組を実施できたか 内容の改善に向けた取組を実施できたか 生徒アンケートの結果、生徒の部活動と学校行事への積極的な参加の割合が7割を超えたか 	<ol style="list-style-type: none"> 部活動再加入キャンペーンを実施した。(9月14日～18日) 今年度より文化祭を2日間開催した。来場者数は1200人を超え、昨年度を上回り大盛況のうち終了した。 生徒アンケートを12月に実施した。その結果、部活動への積極的な参加の割合が7割、学校行事への積極的な参加の割合は9割となり目標を達成した。 	A	これまで以上に部活動と学校行事の活性化を図る。その実現に向け、部活動の加入率増加のための取組、備品等の整備に向けた取組、学校行事の内容改善の定着を行うことが課題である。	文化祭2日間開催の実現は快挙である。もっと自分に自信を持って、部活動や生徒会活動にどんどんチャレンジしてほしい。
4	交流事業の継続により、地域との連携が深まっている。さらなる連携の強化と地域に根ざした学校づくりの実現に向けた取組を行うことが課題である。	保護者・地域との連携と情報発信の拡大、生徒募集活動の活性化	<ol style="list-style-type: none"> 保護者、地域との連携を深める取組の継続的な実施 情報発信の拡大 生徒募集活動の改善 	<ol style="list-style-type: none"> 継続して取組が実施できたか 情報発信の拡大ができたか 生徒募集活動を改善できたか 	<ol style="list-style-type: none"> ごみゼロ運動、小学校との交流事業、算数教室、中学校への出前授業を継続して実施した。 学校行事の発信が効果的で、11月現在のアクセス数は90,000件を超えている。 一日体験入学では311名、学校説明会は毎回200名程度の来校がありアンケートによる学校イメージは良くなっている。 	B	さらなる連携の強化と地域に根ざした学校づくりの実現に向けた取組を継続して行うことが課題である。生徒募集について企画の見直しも含めて実施方法を検討する。	学校・保護者・地域との連携をますます進めたい。ホームページへの学校行事の掲載方法を工夫したり、ほめられたことを発信することで、さらなる情報発信の拡大が期待できる。

